

令和5年伊賀市議会12月定例会会議

請 願 文 書 表

令和5年12月1日

1 受 理 番 号	請願第20号
2 受 付 年 月 日	令和5年11月22日
3 請願者の住所 及び氏名	伊賀市柘植町7153番地 あけぼの学園高校地域支援協議会 代表 亀井 安之
4 請 願 の 件 名	県立あけぼの学園高等学校の存続を求めることについて
5 請 願 の 要 旨	<p>三重県教育委員会が令和4年3月に策定した「県立高等学校活性化計画」には「1学年3学級以下の高等学校は統合についての協議を行うこととする」との方針が示されています。</p> <p>伊賀地域では、あけぼの学園高等学校が対象となりますが、同校は伊賀地域初の総合学科として4系列(美容・フード・情報・福祉)の特色ある教育が展開され、幾多の人材を輩出してきました。</p> <p>さらには小規模校の特徴を活かし、不登校を経験した生徒や外国につながりを持つ生徒など、生徒の多様な実態に応じたきめ細やかな指導により、一人ひとりの個性を伸ばし、全日制高等学校として学びと進路の保障を進めてきました。</p> <p>よって、あけぼの学園高等学校の安易な統合は、伊賀市にとってなくてはならない3校体制を崩し、子どもたちの進路の幅をせばめるだけでなく、子どもたちの夢や希望への意欲を奪ってしまう危険性があります。</p> <p>伊賀市内の3つの全日制高等学校は、それぞれ学校の特色を活かし、互いに連携し、地域・企業・行政の支援のもと、郷土の貴重な教育機関として位置づき、将来にわたる伊賀市の教育環境の充実、まちづくりや地域活性化への貢献の一翼を担う存在として役割を持たせるべきです。</p> <p>以上のような理由から、県立あけぼの学園高等学校の存続及び伊賀市内の3つの県立高等学校の維持を求める意見書を県の関係機関へ提出されるようお願い申し上げます。</p>
6 紹 介 議 員	北森 徹、福岡 正康、宮崎 栄樹、山下 典子、赤堀 久実 百上 真奈
7 付 託 委 員 会	教育民生常任委員会